



コミュニティ・スクール 太宰府市立太宰府西中学校 学校だより

# 樟 蔭

令和3年10月12日(火) No.9 文責 校長 島田 二郎



## 後期が始まります

短い秋休みが終わり、今日から後期が始まります。今年度も残りが約半分となります。これから後半の学校生活をさらに充実したものになるよう、各自で『○○に取り組もう!』という意識をもって生活してほしいと思います。意識を高めることで、さらに生活を改善できます。

さて、前期と後期に、それぞれ活動のテーマを作るとしたら・・・と考えてみました。前期は新年度が始まり、新たな出会いがあり、環境が変わりました。そのため、活動のテーマとしては、『知る』『慣れる』というところでしょうか。新しく出会った友達のこと、先生のこと、学級や学年がどのような目標に向かって進んでいくのか。まずはそれらのことを知り、そして出会った人と共に活動することに慣れていることが大事です。前期の初めは特に、戸惑うことがあったり、不安に思うことや分からないことなどがあったりしたかと思います。しかし、約半年、このメンバーで過ごすことで、そのような不安もだいぶ解消され、皆が自分らしく活動することができるようになってきました。

では、後期の活動テーマは何が良いか？ 私は、『伸ばす』『深める』『高める』が良いと思います。そして、『さらに輝く★』も良いかと思います。自分が目指すこと、学級や学年が目指すことが分かってきました。それをさらに伸ばしたり、深めたりすることが大事です。人間関係をさらに深め、勉強や生徒会活動、部活動、趣味や特技などをさらに深めたり、伸ばしたりすることで、この半年でさらなる成長が期待されます。

そこで、前期終業式に続き、生活調査から気になる結果を紹介します。以下の表をご覧ください。

質問：学校の授業時間以外に、ふだん(月～金)、1日当たりどれくらい勉強しますか(学習塾や家庭教師も含みます) ※表中「3層」とは、学習時間の量を「多」「中」「少」の3層に分けたものです

	1年	2年	3年	全校	全校 (3層)	福岡県	全国	福岡県 (3層)	全国 (3層)
3時間以上	15%	8%	16%	13%	32%	13%	12.3%	42%	41.8%
2時間以上、 3時間より 少ない	17%	21%	19%	19%		29%	29.5%		
1時間以上、 2時間より 少ない	33%	32%	34%	33%	56%	31.2%	34.1%	46.6%	48.2%
30分以上、 1時間より 少ない	24%	23%	24%	24%		15.4%	14.1%		
30分より 少ない	9%	12%	5%	9%	12%	7.4%	6.4%	11.4%	10%
まったく しない	1%	5%	2%	3%		4%	3.6%		

いかがでしょうか。「3時間以上勉強している生徒」の割合は、1、3年生で福岡県平均も全国平均も上回っており、素晴らしいことだと思います。ただし、表にあるように3層に分けて全体的な傾向を見ると、本校生徒は、「2時間以上勉強している」上位層は福岡県平均、全国平均よりも少なく、勉強時間が少ない下位層ほど、多いことがわかります。

このことから、後期に取り組むべきことの1つとして、「家庭学習」が挙げられます。西中生は、「学校に来ることは楽しい」と感じており、学校での活動は輝いています。しかし、家に帰ると「勉強時間が少なくなる」ようです。この課題を後期は、生徒、保護者、学校で共有し、一緒に取り組むことで、変化を期待したいと思います。勉強時間の量はもちろんです。学習内容も改善することで、学力向上につなげていきます。

ご家庭での支援をお願いいたします。

## 1、2年生の後期中間考査が1日で実施となります

11月の第2週末に後期中間考査を予定しています。3年生は9教科実施のため、11日、12日の2日間で実施します。1、2年生は年度当初は3年生と同様、2日間に分けて実施する計画でした。しかし、職員会議で協議し、12日の1日で実施することとしました。理由は、授業の充実を図るためです。今までは、考査終了後に授業を実施していました。考査終了後の授業は平常授業に比べ、集中力や学習意欲がどうしても落ち気味となります。特に2日間考査を実施する時の初日の授業は、当日のテストによる疲労と翌日のテストに向けた意識から、どうしても目の前の授業に全力を出し切れないという課題がありました。学校としてはテストと同様、授業も大事なものと考えます。よりいっそう授業に集中するため、1、2年生の後期中間考査を1日で実施することとしました。ご理解をお願いいたします。

## 今後の教育活動と合唱コンクールの実施方法について

新型コロナウイルスの感染状況は、現在は収まりつつあります。しかし、いつまた感染者が増加するか、今後の感染状況は、全く見えません。そのような中、学校としては「安心安全」と「学びの継続」を第一と考え、これからも教育活動を推進していきます。

緊急事態宣言が解除になり、学校の教育活動では、感染症対策を継続しながら、以下の活動が変わりました。

- ・学年集会の実施
- ・授業中のグループ活動
- ・保護者等の来校
- ・部活動の実施と練習試合の緩和
- ・講話による学習における外部講師の招へい

ただし、集会については、学年集会までは実施可能とし、全校集会や2学年による集会は実施しないこととしました。1学年が約200名弱います。体育館や武道場に1学年が入る分については、換気や間隔を空けて座ることで感染症対策ができます。しかし、2学年以上になると、約400名となり、感染症対策が難しくなります。そのため、合唱コンクールについても1学年ずつの実施とすることになりました。従来ステージ上では密になるため、ステージとフロアを使い、間隔を空けて合唱します。また、マスクは着用したままの合唱となります。当該学年の生徒は体育館フロアの後方から鑑賞します。今年度は以上の要領で合唱コンクールを開催します。保護者の皆さまには大変申し訳なく思います。ご理解をお願いいたします。

